

# 第1号議案 2018年度事業報告

2018年度事業報告（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

## 【組織】

- 1) 会員は、昨年度と比べ正会員個人1人減となっています。会員を増やしていくことが引き続きの課題です。  
会員数正会員 25（13 団体、個人 12 名）、賛助会員 0
- 2) 理事会（理事 12 名、監事 2 名）は、4 回開催しました。  
第 1 回理事会：7 月 17 日（火）17：00～18：00 出席者：10 名  
第 2 回理事会：10 月 16 日（火）17：00～18：00 出席者：8 名  
第 3 回理事会：12 月 18 日（火）17：00～18：00 出席者：8 名  
第 4 回理事会：3 月 19 日（火）17：00～18：00 出席者：9 名（うち表決書 3 名）
- 3) 事務局業務を特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NP0 クラブ）に委託しました。

## 【財政】

法人の財源は、会費収入、事業収入、寄付金収入としており、会費収入は 310,000 円（予算 350,000 円）、事業収入のユニバーサル農業販路拡大支援事業は収支差額で 3,620 円、その他収入 148,709 円（ユニバーサル農業フェスタ事務局手数料収入、千葉大学より講座謝金）となりました。寄付金収入は 25,600 円（予算：30,000 円）になりました。事業収入としている生活クラブ・スピリッツのカatalog事業への紹介は、条件に見合う品物の拡大が難しい状況です。

## 【事業】

- ・8 回目となる「ユニバーサル農業フェスタ」を開催し、シニア世代の農業参画、就農、福祉施設の農業分野の取組みを支援するために情報交換、視察交流会を実施しました。また、ユニバーサル農業や福祉施設の製品の販路拡大を目的として事業を取り組みました。
- ・「つながる経済フォーラムちば」開催に向けて、世話人会事務局を担当しました。世話人会は企業、社会福祉法人、生協、大学、NP0、市民がメンバーとなり、第 1 回 9/18、第 2 回 1/12、第 3 回 4/3 開催、フォーラム企画内容を協議しました。

### (1) 相談事業

- ・「ちばユニバーサル農業フェスタ」開催時に、「園芸・栽培相談」および「就農相談」を開設、それぞれ 9 件と 1 件相談がありました。相談担当は NP0 法人ちば農業支援ネットワーク、四街道市農業委員会、四街道市産業振興課から協力をいただきました。
- ・「ちばユニバーサル農業フェスタ」開催時に、福祉事業所等の販路拡大につなげるため「商談コーナー」を置き、3 団体が商談に臨みました。担当は、生協パルシステムちば、生活クラブ生協千葉、生活クラブ・スピリッツに協力いただきました。

### (2) 情報収集・提供事業

- ・Facebook ページおよびブログで、「ちばユニバーサル農業フェスタ」の開催や出展団体紹介を年間通して行いました。（Facebook ページ「いいね！」490 件）
- ・ちばユニバーサル農業フェスタの開催について、県内メディアにリリースを行い、3 紙のイベント紹介欄に掲載、WEB ニュース 2 社に掲載され、当日は 2 社が取材にきました。

### (3) 連携（ネットワーク）事業

- ・生活クラブ千葉グループ協議会、千葉県労働者福祉協議会理事として参画し、主に「農業の可能性」「農の価値」を地域に広く伝え、多様な市民が「農」に関わるしくみづくりをすすめました。
- ・社会福祉法人生活クラブが主催するユニバーサル農業さくら野菜お届け便円卓会議にメンバーとして参画しました。

- ・ユニバーサル農業で生産される農産物や加工品の販売促進を目的に、生活クラブ・スピリッツと提携、千葉県内のユニバーサル農産加工品を紹介しカタログに掲載され、受注の取り次ぎを行いました。  
〔受注した商品〕  
いちじくジャム 90 個（2017 秋・冬・2017 春カタログ）、プリンとレアチーズケーキ 1 セット、ポルポローネ 3 セット（夏ギフト・冬ギフト）
- ・千葉県「県民活動推進月間」アピール行動として、ユニバーサル農業フェスタ当日にリーフレット等 500 部を配布しました。
- ・「第 8 回ちばユニバーサル農業フェスタ」開催のための実行委員会事務局を担いました。メイン会場は四街道市の協力で四街道市文化センターにおいて 11 月 17 日開催、「みんなでかかわる農業」を推進する様々な人たちが出会い、交流し、市民に対して広く働きかける「場」をつくりました。  
日時：11 月 17 日（土）10：00～15：00  
会場：四街道市文化センター（前広場、大ホール、ホワイエ、展示ホール、2 階会議室、駐車場）  
主催：ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会  
協力：四街道市みんなで地域づくりセンター、公益財団法人四街道市地域振興財団  
参加者：2,800 人 出展団体 42 ブース（物販、展示・ワークショップ、相談・商談 計 47 団体）  
ステージ 7 団体、協力団体 5 団体  
ボランティア参加：大学生 7 名（千葉大 5、淑徳大 1、昭和女子大 1）、敬愛高校 6 名+先生  
後援 17 団体  
総売上げ：1,121,250 円
- ・地域フェスタを 2 ヶ所で開催しました。佐倉のアグリフォーラム実行委員会が主催して例年開催される「アグリフォーラム&ユニバーサル農業フェスタ」（佐倉市）と、昨年引き続き、神崎町役場の協力をいただき、道の駅発酵の里こうざき(神崎町)で開催しました。  
※「ちばユニバーサル農業フェスタ開催事業報告」は、議案書の後ろに添付しています。
- ・千葉大学公開講座「農地を守る新たな経済を学生と考える、-ちばユニバーサル農業フェスタの取組みを事例に-」を 5 月 21 日に千葉大学で行い、学生約 100 名が聴講、その後、1 名がフェスタ実行委員会に参加し、当日のボランティア参加にもつながりました。また、「社会調査実習」の一環で、地域の食材等を使用するカフェ、レストランの運営者、生産者とのつながりについての調査に協力依頼があり、四街道市の日替わりシェフの店「さくらそう」につながりました。
- ・ユニバーサル農業講演会&出展説明会を 9 月 10 日（月）に開催し、ユニバーサル農業や農福連携に関心があつまり、52 人が参加し情報交換を行いました。
  - ・ちばユニバーサル農業フェスタ開催について（実行委員長）
  - ・県内の福祉事業所 300 か所の農業の実態調査から、  
今後の農福連携の進め方について（NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター）
  - ・講演 テーマ：「生きづらさを抱えた人の働くについて～農業分野の事例」  
講師：里見喜久夫さん  
（季刊『コトノネ』編集長、（一社）農福連携自然栽培パーティ全国協議会副理事長）

## 第 2 号議案 2017 年度決算報告、監査報告に関する件

- 1) 2018 年度決算報告（別紙 活動計算書は、別紙のとおりです）
- 2) 2018 年度 監査報告（別紙）